

# 石橋文化センターつばき園案内図

# The Camellia Garden of Ishibashi Cultural Center

石橋文化センターのつばき園は、1972年に日本庭園を増設した際、久留米椿研究会より苗の寄贈を受け、植栽したことが始まりです。その後1993年に、つばき園として久留米つばきを中心に約120品種を植栽し整備を行いました。

さらに、2008年～2009年にかけて、新たに約130品種のツバキを増殖し、テーマごとに、「久留米つばき」・「世界のつばき」・「日本のつばき」・「香りのつばき」・「園芸品種実生のつばき」と5つにゾーニングして再整備を行いました。2010年の国際ツバキ会議において「国際優秀つばき園」に認定され、10年間の認定期間を経て、2020年に再認定されています。広さは、約5,500㎡。約260品種1,500本のツバキ(見ごろは3月上旬から3月下旬)が植栽されており、様々なツバキの魅力を存分に鑑賞することができます。

## ■ゾーン毎に様々なツバキを配置

園内のツバキは5つのテーマ毎にゾーニングされており、それぞれのテーマに沿って楽しんでいただくことができます。

- **久留米のつばきゾーン**  
久留米の誇るツバキの紹介
- **日本のつばきゾーン**  
日本各地のツバキや茶花として好まれたツバキの紹介
- **世界のつばきゾーン**  
世界で生み出された、優雅で華麗、豪華なツバキの紹介
- **香りのつばきゾーン**  
注目を浴びている香りのするツバキの紹介
- **園芸品種実生のつばきゾーン**  
園芸品種実生ツバキの紹介  
※園芸品種実生とは園芸品種のツバキが自然交配し、落した種子から発芽した(実生)ものです。これらの中から優れたものについては選抜し、新種として発表されるものもあります。



- A メモリアルゾーン** 石橋文化センターを寄贈した石橋正二郎氏の想いを感じることができるゾーンです。
- B 読書と木陰のくつろぎゾーン** 図書館の南側に広がる木陰の広場はお茶や軽食を楽しみながら、思い思いに読書をし、自分の時間を過ごすことができるくつろぎのゾーンです。
- C 花と水辺のヒーリングゾーン** 池のまわりを花しょうぶやあじさい、睡蓮、梅など四季折々の花が彩り、アオサギやコイ、カメなどの生き物も楽しめる水辺のゾーンです。
- D 創造の森ゾーン** 坂本繁二郎旧アトリエを中心に、つばき園、あずま屋、親水広場、睡蓮の池などが連なる自然豊かなゾーンです。
- E 和のゾーン** 石橋正二郎氏自らの構想による回遊式の日本庭園。耳納連山の山石も使用され、四季折々の豊かな表情を見せます。
- F パラのゾーン** 香りの高い品種を集めたバラ園では、小道を巡りながら、多種多様なバラの香りや、色や形の違いを楽しめます。

